

教育学演習Ⅰ

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

奥住 桂

1. 授業の概要(ねらい)

- (1) 理論: 言語教育分野の専門書をディスカッションしながら読み進め、理解を深めます。
- (2) 研究: 4年生は卒業研究としてゼミ論文に、3年生は来年度の卒業研究に向けて文献レビューを作成し、発表します。

2. 授業の到達目標

- 専門的な文献を正しく読み取る力と、自分の言葉でわかりやすく人に伝える表現力が身についている。
- 言語教育分野のアカデミックなルールを理解し、自分の関心に従って必要な文献を探し、内容を整理し、論理的に考え、まとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業中のディスカッション等への参加・発表など 50%
- ・研究計画・レポートなど 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

田地野彰(編) 『明日の授業に活かす「意味順」英語指導—理論的背景と授業実践』 ひつじ書房

松村昌紀(編) 『タスク・ベースの英語指導—TBLTの理解と実践』 大修館書店

参考文献

加藤由崇・松村昌紀・Paul Wicking(編著) 『コミュニケーション・タスクのアイデアとマテリアル』 三修社

白畑知彦ら(著) 『英語教育用語辞典 第3版』 大修館書店

5. 準備学修の内容

- ・英語で論文等が読めるように、しっかり準備をしておいてください。
- ・「参考文献」の2冊は、授業の指定図書としてMELICに用意してあります。発表などの前に各自で借りて活用してください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 文献検討A①
『意味順』第1章「「意味順」—理論的背景—」
- 【第3回】 文献検討B①
『TBLT』第1章「タスク・ベースの発想と言語教育の方法論」
- 【第4回】 文献検討A②
『意味順』第2章「統辞論からみた「意味順」」
- 【第5回】 文献検討B②
『TBLT』第2章「タスク・ベースの言語指導と認知のメカニズム」
- 【第6回】 文献検討A③
『意味順』第3章「5文型と「意味順」」
- 【第7回】 文献検討B③
『TBLT』第3章「タスク・ベースの言語指導と教育思想」
- 【第8回】 文献検討A④
『意味順』第4章「英語史からみた「意味順」」
- 【第9回】 文献検討B④
『TBLT』第4章「タスク・ベースの言語指導をめぐる疑問と解決への道」
- 【第10回】 文献検討A⑤
『意味順』第5章「「意味順」と語彙学習」
- 【第11回】 研究テーマの設定①テーマの立て方
- 【第12回】 研究テーマの設定②個人テーマの決定・共有
- 【第13回】 研究方法(質的研究・量的研究)
- 【第14回】 研究方法の確定【オンライン授業予定】
- 【第15回】 まとめ